

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成27年3月20日
学校名	北海道教育大学附属札幌小中学校ふじのめ学級
PTA会長名	佐藤 真由美 (特別支援学級PTA)

実施概要	実施活動名	ふじのめ祭り
	実施日時	平成26年11月29日(土) 10:30~11:30
	実施場所	北海道教育大学附属札幌小中学校 ふじのめ学級 体育館
	実施目的	実際に出店で楽しんでもらうことで、特別支援学級児童生徒が友達や地域の方に喜んでもらうために取り組んでいる様子と、児童生徒とその家族がともに創り上げている行事の様子を、地域の人に見てもらったり直接かかわったりしてもらうことで共生社会について考えてもらう機会とする。
	実施内容	<p><児童生徒> ・縦割りグループ(6つ)によるゲームのお店を出店</p> <p><保護者> ・家族とともに、児童生徒たちの出店で遊ぶ。</p> <p>・PTA役員が中心となって、食べ物の店を出店する。</p> <p><地域参加者> ・出店で遊びながら、児童生徒やその家族の様子をみる。</p>
	実施方法	<p>・児童生徒が作成したポスターを大学校内に掲示する。</p> <p>・特別支援教育専攻の学生・教員に案内を出す(eメール)。</p>
参加人数	<p>・ふじのめ学級小学校児童・中学校生徒(40名)</p> <p>・ふじのめ学級児童生徒の家族(保護者・兄弟・親戚・友達 約100名)</p> <p>・ふじのめ学級教職員・非常勤講師(17名 ※校長・副校長含む)</p> <p>・教育大学札幌校及び大学院の学生・教員(未定)</p>	

報告事項	内容	<p>・児童生徒が6つの縦割りグループに分かれ、的当て、ホッケーゲーム、宝探し、積み上げる缶の数を競うゲームなどのゲームができる出店と、80個の景品を用意した。当日は、前半と後半で店員とお客に分かれて活動し、開祭式でお店のPRをしたり、閉祭式で感想を言ったりする。</p> <p>・保護者は、PTA役員が中心となって食べ物(フルーツサンドとフランクフルト)のお店を行った。地域の方の参加も考えた数を用意した。また役員以外の保護者の方も当日の手伝いを積極的に行っていた。</p> <p>・地域の方々にも、チケットを配布し出店で遊んだりPTAの出店で食べ物と交換できるようにした。</p>
	結果	<p>・両親、祖父母、兄弟姉妹、居住地の友達、以前の担任など100名を超える方が参加して下さった。</p> <p>・大学へのポスター掲示により問い合わせも増え、大学生、大学院生、大学の先生などの参加があった。</p> <p>・児童生徒は、お客さんに喜んでほしい、自分たちも楽しみたい、という気持ちをもって、出店の内容、景品など工夫をして準備をしていた。当日は、自分たちのつくった出店で遊んでくれるお客さんにルールを進んで説明したり、ゲームを行う場所に案内したり、自分のグループの出店に来てもらおうと大きな声で呼びかけるなどする姿がみられた。</p> <p>・来てくれた方々はいろいろなお店を回って積極的に遊んだり、接客している児童生徒とかかわってルールなどを教えてもらったりしていた。</p> <p>・大学に掲示したポスターを見て来て下さったお客さんも、分からないことを児童生徒に聞きながらそれぞれのグループが準備したゲームで遊んでくれていた。</p>
	所感	<p>・保護者の方は参観等で学校に来る機会はあるが、異学年と一緒にかわりながら活動する姿はみることが少ないので、異学年の姿から子どもたちの成長をとらえることができた。また、子どもたちが知らない人とも積極的にかかわろうとする姿やいろいろな出店で楽しむ姿から、普段見ない子どもたちの姿を知ることができた。</p> <p>・地域の方々はもちろん、普段来る機会の少ない保護者以外の家族、近所の方にも、ふじのめ祭りを通して、児童生徒が生き生きと活動している様子を感じている様子を見てもらうことができた。</p> <p>・ポスターを見て来たお客さんも実際に遊ぶことで、児童生徒の一生懸命さや楽しんでもらおうとしていることなどを直に感じていただくことができ、子どもたちの思いや考えの理解にもつながっていた。</p> <p>・大人も子どもも、家族以外の人、地域の人、どの人も楽しいと思える場を共有することにつながったことが、とても価値のある時間であった。</p>

添付書類

特になし

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成27年 3月 20日		
学校名	北海道教育大学附属札幌小中学校ふじのめ学級		
学年	小中学生	氏名	複数名

<小学生>

- ・全部のグループのゲームが楽しかった。
- ・景品がなくなってもお客さんが来てくれた。全部、景品がなくなった。
- ・中学生と一緒に楽しかった。
- ・たくさんお客さんがきた。
- ・友達（幼なじみ）も遊びに来てくれた。
- ・〇〇グループのゲームが楽しかった。
- ・〇〇（景品）をゲットした！
- ・「いらっしやいませ」を頑張った。

等

<中学生>

- ・小学生と協力してできてよかった。
- ・たくさんお客さんがきて、ふじのめ祭りが盛り上がった。
- ・どのグループのお店も楽しかった。
- ・家族（親や兄弟姉妹）が喜んでくれた。何回もお店に来てくれた。
- ・店員でうまくいかないこともあったけど、たくさんお客さんが来てくれてよかった。

等

※児童生徒の感想は、祭りの最中、祭りの閉祭式、終了後に話していた内容を記入しました。

ふじのめ祭りは、ふじのめ学級の小中学生の縦割り活動の一つです。事前の学習を通して、ゲームのできるお店や景品の準備をすすめてきており、当日を迎えています。そのため、児童生徒の感想としては、小中学生とのかかわり、お客さんが来たこと、自分が楽しんだことにかかわる感想が多くみられました。また、店員やお客になっていろいろな人とかかわることだけでなく、知っている人も知らない人も、たくさんの人たちとふじのめ祭りを楽しむことができたことに価値があったと思います。様々な人たちと楽しさを共有できたことは、今後の子どもたちのいろいろな人とかかわろうとする力になっていくと思います。

(北海道教育大学附属札幌小中学校 主任 金澤恵美)

カンガルーシップ活動

理解プロジェクト参加感想

提出日	平成27年3月20日
学校名	北海道教育大学附属札幌小中学校ふじのめ学級
氏名	PTA 役員、参加した保護者 (複数名より)

・今年度もたくさんの方々に参加してもらい、子どもたちが生き生きと活動する姿や人とのかかわりを楽しんでいる姿など、地域の方々にも子どもたちのことを知ってもらいよい機会となったと思います。

ふじのめ祭りは、子どもも大人も一緒になって楽しむことが大切だと思います。PTA からは「フルーツサンド」(どら焼きの皮に生クリームとフルーツを挟んだもの)と「フランクフルト」の出店を行いました。子どもたちはもちろん、保護者の方々、参加された地域の方々にも食べていただき、「おいしかった」という声を聞くことができました。また、フリードリンクコーナーでは冷たい麦茶や温かいコーヒー・ココアを用意していましたが、こちらも好評でした。参加していただいた方々には、子どもたちの姿をみていただくだけでなく、直接かかわってもらうこともできる行事となるとともに、保護者も出店を出すことで、子どもと保護者のかかわりも含め、特別支援学級や特別支援学級に在籍する児童生徒についても理解していただける機会となったと思います。

(PTAの出店を担当した役員より)

・たくさんの方(小学生、中学生、先生方、家族、地域の方)と交流することができてよかったと感じました。子どもたちにとって楽しい行事であるだけでなく、いろいろな人とかかわりをもてることで、かかわり方(話し方、振る舞い、正しい表現等)を子どもたち自身が考え、身に付けることができる行事だと思います。

・通常学級、中学生、大学生などと楽しく活動できたようです。たくさんの方との交流の中で、場面にあった話し方、態度など学べたと感じます。

・中学生とかかわることで、憧れをもったり、目標にしたりしています。(小学生の母)

・下級生とのかかわりの中で、リーダーシップを発揮しようとしていて集中したり、気配りをしたりできるようになって頼もしく感じた。(中学生の母)

・家族や兄弟姉妹だけでなく、地域の方々も参加してもらうことができ、出店があることで子どもたちと自然にかかわってもらえることでより子どもたちのことを理解してもらえと思う。

(ふじのめ祭りに参加した保護者の方々より)